

第71回定期演奏会

神戸フィルハーモニック

秋を聴く

～ Program ～

ベートーヴェン：交響曲第4番 変ロ長調 作品60

Beethoven : Symphony No.4 in B flat major, Op.60

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」 作品35

Nikolai Rimsky-Korsakov : "Scheherazade" Symphonic Suite, Op.35

指揮：朝比奈 千足
Chitaru Asahina

2015 11.14 (土)

4:00pm開演(3:30pm開場)

神戸文化ホール・大ホール

神戸市営地下鉄「大倉山駅」下車すぐ、バス「大倉山停留所」下車すぐ
阪急・阪神・山陽「高速神戸駅」より徒歩約8分、JR「神戸駅」より徒歩約10分

入場料：全席自由(消費税込) *就学前のお子様はご遠慮下さい。

[一般 2,500円前売](当日3,000円) [大学生以下 1,000円前売](当日1,000円)

【入場券発売】

神戸文化ホールプレイガイド (078-351-3349)

神戸コンサート協会 (078-805-6351)(FAX予約078-805-6352)

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

①電話またはFAX予約によるチケット郵送サービス可。

②FAX予約は演奏会名・チケット種別・枚数と名前・住所・電話番号を明記の上、お申し込みください。



●お問い合わせ (公財)神戸市民文化振興財団 (078-351-3597) <http://www.kobe-bunka.jp/>
神戸フィルハーモニック公式HP <http://www.kobephilharmonic.jp/>
神戸フィルハーモニック後援会事務局(080-1519-1183)

■主催/神戸フィルハーモニック・神戸フィルハーモニック後援会・神戸市・(公財)神戸市民文化振興財団

■後援/神戸市教育委員会



秋を聴く

今回は珍しい曲？を聴いていただけるまたとないチャンスです。九つあるベートーヴェンの交響曲のうち演奏機会が極端に少ないのがこの4番目の交響曲です。だから聴く機会も少ない訳で「珍しい」のです。

なぜあんまり演奏されないのか……。理由は簡単。きっとこの曲の前後に「英雄」「運命」「田園」という物凄く有名な曲が並んでいるので、つい忘れられてしまっているからでしょう。それとも、この曲の編成がベートーヴェンの作品としては比較的小さめで、昨今の多少派手好みのプログラムにはちょっと地味に思われるのかも知れません。

でも、この曲はどこをとってもベートーヴェンの世界です。思索に富んだ導入、突然の感情の爆発、優しく憧憬にみちたメロディー、少しおどけたスケルツォ(この中間部分の可愛らしさといったらたまりません)、そして駆けっこしているような急がしい終楽章……。楽しくて興味がつきないシンフォニーです。このベートーヴェンの交響曲第4番も、表題こそ付いていませんがやっぱり名曲です。

シェヘラザードとは千一夜も物語を語った女性の名前です。たくさんあるアラビアンナイトの話の中の、ほんのわずかなエピソードを取り上げて作曲された、ロシアの作曲家リムスキー＝コルサコフの傑作です。

暴君シャリアール王は毎夜このシェヘラザードにいろいろな話をさせているうちに、彼女の話があまりにも面白いので千一日も続いてしまった結果、この暴君はついに改心して優しい王様となり、シェヘラザードを妃に迎える…。というような内容のお話を音楽にしたものです。

まず、暴君を表す荒々しく横柄な主題で音楽が始まります。そこへシェヘラザードが登場、暴君を優しくなだめるようにヴァイオリンの独奏が続きます。この組み合わせが軸となって全曲中何度も現れるので、あゝ、荒ぶる暴君をシェヘラザードが懸命に慰めているのだな、と想像できます。そしてシェヘラザードが語るお話は、大海原を航行するシンドバッドの雄姿や若い苦行僧の数奇な諸国行脚の物語、美しい王女とイケメン王子との恋の物語、バグダッドの不思議な祭の様子、最後にシンドバッドの船が大波にのまれて難破してしまう、という内容です。どの場面もその情景が目に浮かぶような痛快な音楽の連続です。

深まる秋にゆくりと聴いていただくのにぴったりの2曲です。ご期待ください。

朝比奈 千足 (指揮・音楽監督)

神戸フィルハーモニック

Kobe Philharmonic

神戸市民のオーケストラとして1979年に発足した神戸フィルハーモニックは、幅広い年齢層のファンの方々に支えられて活動を続けています。デビューコンサートをその翌年1月に開催し、以降、年2回の定期演奏会やニューイヤーコンサートを行ってきました。他にも、後援会主催のコンサートや諸団体からの依頼演奏を行うなど、多彩な演奏活動を展開しています。このように、市民の皆様にも身近に、気楽に楽しんでいただけるよう、求め易い価格で良質なクラシック音楽の魅力や楽しさを提供し続けてきた活動が評価され、1997年に神戸市文化活動功労賞を受賞しました。また、音楽を通じて青少年の育成やクラシック音楽の普及にも力を注ぎ、バレエや日本舞踊とのコラボレーション、少年少女合唱団や中学校の吹奏楽部との共演など、新たな試みにも積極的にチャレンジしています。そして、音楽活動を通じて国際交流も行っており、1991年にはオーストラリアからクィーンズランド・フィルを迎えて合同演奏会を行い、2010年には神戸市の姉妹都市であるオーストラリアのブリスベンにて、小編成での訪問演奏を行いました。2011年、東日本大震災が日本を襲いましたが、阪神淡路大震災を経験した私たちであるからこそ、復興への思いを寄せ、チャリティーコンサートと南三陸町歌津地区へ訪問し、演奏会や被災された方々との交流を行っています。我々は、これからも、より多くの方々にクラシック音楽に親しんでいただけるよう、日々、演奏活動に励む所存です。